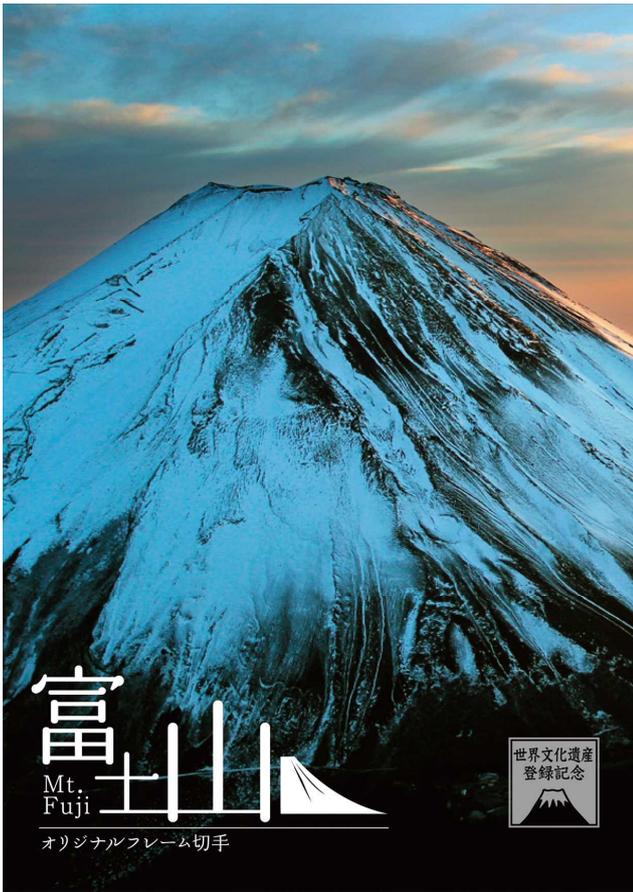


●台紙
・表紙



・中面



オリジナルフレーム切手に採用された富士山



富士山と四季のうつろい



富士山の歴史と自然、文化

富士山は日本一の標高（3,776メートル）と円錐型の美しい山容を誇る、日本のシンボルです。静岡、山梨の両県にまたがり、江戸時代から富士講と呼ばれる信仰登山の対象として人々の尊敬を集めてきました。古くは万葉時代に歌に詠まれたり、絵画や物語の題材にもなり、富士山を描いた浮世絵は、海を渡りヨーロッパの印象派など芸術家にも大きな影響を与えました。

富士山の美しい姿には、長い歴史があります。今から40万年ほど前、愛鷹（あしたか）山や小御岳（こみけ）、箱根山などの火山が噴火を止め、大層の火山灰や溶岩が地表にもたらし、肥後や関東一帯などを形成してきました。10万年ほど前になって、愛鷹山と小御岳との間で噴煙を上げた新しい火山が、富士山の原型「古富士」です。古富士は噴火を繰り返して成長し、およそ1万年前には他の火山よりも高くそびえ立つ、現在とはほぼ同じ姿に成長したのでした。

ユネスコ世界遺産委員会は2013年6月、富士山について「日本の国家的象徴だが、その影響は日本をはるかに超えて及んでいる」として、世界文化遺産に登録しました。構成資産は▽富士山麓（山頂の信仰遺跡群）▽富士五湖▽富士山本宮浅間大社▽忍野八海▽御師住宅▽富田内湖▽須走口登山道▽白糸ノ滝一など多様な自然、信仰、伝統に培われたスポットが指定されています。

万年雪をゆたかに富士山は、日本一の美意識でもあります。山頂は降り注ぐ雪を蓄えて地下氷となり、自然の恵み忍野八海などの構成資産は、湧水が生み出した自然の芸術といえます。また、青木ヶ原樹海や中腹の針葉樹・広葉樹の混合原生林、ヤマメやヤマブキなどの動植物は、学術的にも高い価値を持っています。

毎年7、8月の開山シーズンには、ご来光を目指す登山客で大変な賑わいとなり、山麓の四季折々の風景や山頂から望む雄大な相模湾の眺めは、訪れる人々の心をとらえて離しません。